

有限会社大輝製作所

〈柏原支店〉



森本昌宇 社長



1



2



3



4

① 最新の設備機械 ② 精密な加工技術 ③ 厳しい品質管理 ④ 真鍮製ボールペン

0.01mmへのプライドで
お客さまに寄り添うモノづくりを

「会社の紹介」

創業以来50余年、黄銅（真鍮）に特化した部品の数々を製造しています。ガスや水道機器の部品など生活の土台を支えるインフラパーツには、確かな安全性が求められています。精度の高い技術を磨き、お客さまに寄り添えるモノづくりを手がけています。

「大輝の3K」を掲げて

ガス・水道機器など真鍮に特化した多彩な部品を製造する有限会社大輝製作所（森本昌宇社長）。創業は1973年、森本社長の義父、勝也さんが大阪市東成区でガス機器部品の切削加工を始めました。87年に八尾市に移転拡張して法人を設立、CNC（コンピュータ制御装置）自動旋盤を積極的に導入してきました。「大輝の3K」として「きめ細やかに綺麗な仕事気持ちよく」「決めたことをキッチリ守って期限まで」「簡単に壊すな

みんなで決めたこと」を掲げ、明るい職場づくりを心がけてきました。

試作、小ロット注文や
量産加工にも対応

いまではガス機器部品のニードル、ノズルのほか、農機具、水道部品や消火器関連、弱電部品など幅広く製造。真鍮の棒材で極小の穴を加工するために、0.01mmという精度を実現できる設備も積極的に導入しています。2015年に同社を受け継いだ森本社長は「挑戦し、成長し続ける企業を目指しています」と強調。「従業員がプライドをもってモノづくりができるように、機器内部の部品だけではなく、その加工技術のすばらしさが表から見える新製品も創りたいですね」と語っていただき

ました。

精密技術を生かした

真鍮製ボールペンも

新ブランド「DAIKI Brass Designs」の商品として京都芸術大学と真鍮製ボールペン「WEIGHT+」を共同開発。同大学と八尾市内の町工場が共創で製品開発する「YAOKON FOUN」事業の一環で、ボールペンの持ち手の部分が3つに分けられ、重心を好みに合わせて組み替えることができ、同社の加工技術がフルに生かされています。昨年11月、東京で開かれた文具展で披露され、森本社長は「このボールペンをネットで販売するほか、防災に役立つ新商品を開発していきたい」と意欲たっぷりです。

Company Profile

- 〒581-0852
- 大阪府八尾市西高安町1-5
- TEL 072-991-1331
- 事業内容
- ガス機器部品、農機具、水道器具部品などの精密加工。
- 創業 1973年
- 会社設立 1987年
- 従業員数 17人
- (2024年1月現在)